

コロナ禍対応

# コロナ影響 『働き方』『生産性』見直し



## ● 見えてきた利点と課題

「**テレワーク**導入に拍車」⇒ 多様な働き方への理解進む

## テレワークの導入のメリットとデメリット

### メリット

- 感染のリスクを低減できる
- 通勤がなくなり、ストレス解消や時間の有効利用が可能
- 業務を集中して実施できるなど業務の効率化
- 場所にとらわれない働き方が実現
- ツールの活用でコミュニケーションが活性化
- 子育て、介護などワークライフバランスの充実
- ペーパーレスや交通費の削減
- 働き方、生産性を見直す契機に

### デメリット

- 労務・業務管理が難しい
- 対面と同じようなコミュニケーションが取りにくくなる
- 突発的な案件への対応が難しい
- 専用機器や通信回線などの投資負担増
- セキュリティー対策の整備
- コミュニケーション不足によるストレス増
- 運動不足
- オン／オフの切り替えが難しい

# 新常態 オフィス変貌

面積縮小

拠点分散

3密対策

都内空室率10年ぶり上昇幅

新常態でのオフィス活用方法は分かれる

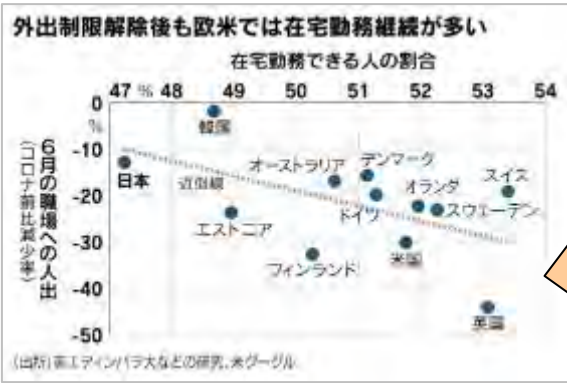
オフィスへの対応	企業名	主な検討・実施事項
面積の縮小	富士通	3年で面積半減
	レノボ・ジャパン、NECパーソナルコンピュータ	本社オフィスの削減
	エー・ピーカンパニー	本社を6月に移転。面積を10分の1に
	イオンデイライト	大阪や東京などの本社機能を集約
拠点分散	麒麟ホールディングス	首都圏でシェアオフィス導入
	花王	グループ販社の営業拠点をサテライトオフィスに活用
感染対策	味の素	フリーアドレス座席を半減
	ファンケル	本社のコールセンター機能を1フロアから5フロアに分散。座席空間も拡張

ファンケルの  
コールセンターブース



一方...

▶ **在宅定着 ニッポンの壁**  
主要国で最低水準 「仕事」の見直し急務

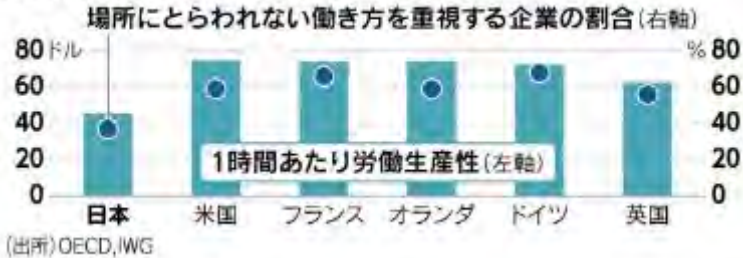


在宅勤務できる人

米国51.7%  
英国53%  
日本47.2%

欧米は仕事内容を明確に規定するジョブ型、  
日本は職務や責任が曖昧なメンバーシップ型（評価しにくい）

日本の労働生産性は米欧比4割低い



# コロナ禍で加速する地方移住 東京が最大の人口流出地域に

▼ 10月の転入超過数がプラスの  
県

2020年（23県）



地方創生へ

長野新拠点

11月17日長野日報新聞に掲載

# 茅野市とたちかわIT交流会との交流でテレワーク促進

## 茅野市が立川（京）の「IT交流会」と連携 テレワーク促進へ

茅野市は、テレワーク促進へ東京都立川市のIT企業で組織する「たちかわIT交流会」との連携を始めた。同会は今夏、テレワーク導入へJR茅野駅前のコワーキングスペース「ワークラボハケ岳」のオフィススペースに入居。茅野市は同会参加企業の希望があれば市内の空き物件をサテライトオフィスとして紹介することも可能としており、連携を強めたい意向だ。

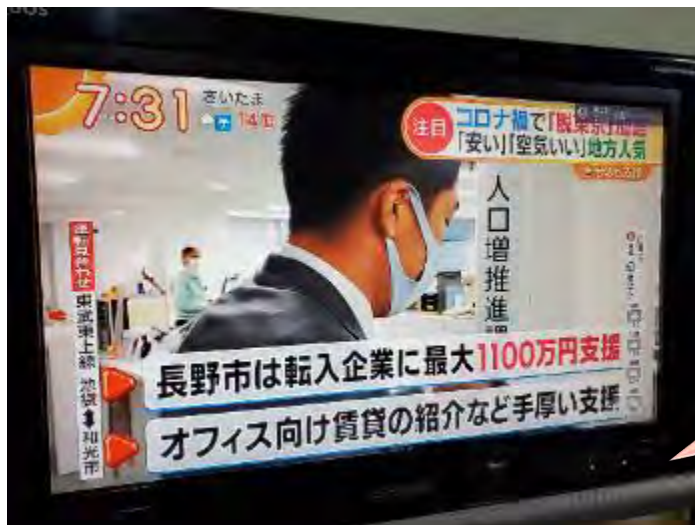
茅野市がテレワーク推進へJR中央東線沿線の多摩地域でプロモーション活動をする中で同会とつながった。同会は立川商工会議所の組織で、IT企業を中心に32社が参加している。立川市内の企業は地元の学生が都心で就職先を探す傾向があり、人材確保に悩みがあった。そこで場所を限定せずに働けるテレワークに着目。Uターンする若者を増やしたい思いは茅野市も同じで、地元に住みながら、都内企業に勤める可能性が広がると考えた。

同会会長で立川市でソフトウェア開発などを手掛ける企業の社長を務める飯田哲郎さんは「立川と茅野は特急あずさなら1時間半ほどで往来できる地の利がある。ITの仕事はどこでもできるし、地方は自然が豊富。茅野市とのパイプを太くしたい」と話している。

茅野市地域戦略課は「市内にはIT系企業が少なく、企業誘致の方向性として考えられる業種。テレワーク推進で多様な働き方もアピールできれば」としている。（小尾口有）



たちかわIT交流会



長野への会社移転には  
手厚い助成金もあります！

2021年1月29日 日本経済新聞掲載  
新卒、地元で「リモート就職」都内ITと長野県茅野市

21/2/1

日本経済新聞



長野県茅野市はシェアオフィス「ワークラボハケ岳」を設けるなどしてIT企業を誘致している

業種別の中途採用求人倍率	
IT・通信	5.78
サービス	2.29
メディカル	2.01
金融	1.69
メーカー	1.42
メディア	1.04
商社・流通	0.92
小売・外食	0.66

(注) 2020年12月、パーソルキャリア調べ

東京都立川市のIT（情報通信）関連企業と長野県茅野市は、就職後地元でリモートワークで仕事を行うことを前提に、同市の学生を立川市のIT企業が採用する事業で連携する。IT人材の不足を解決したい立川市内の企業と、人口流出に歯止めを掛けたい茅野市との間で思惑が一致した。2022年新卒の採用から事業を本格展開する。

諏訪東京理科大生らにPR  
22年卒採用から展開

立川商工会議所のIT関連企業32社からなる「たちかわIT交流会」と茅野市が共同で事業を進める。交流会の企業は、仕事をリモートワークで行う採用枠を設ける。茅野市内の公立諏訪東京理科大や茅野市出身で多摩地域を中心とした首都圏の大学生を対象に採用活動を行う。採用した学生には就職後、原則長野県内の自宅か自宅周辺のシェアオフィスでリモートワークをしてもらう。交流会会長を務める東洋システム（立川市）の

飯田哲郎社長は「交流会の企業全体で年間50人の採用を目指したい」と話している。重要な打ち合わせなどで立川市内の本社に来てもらう場合も、JR中央線特急で立川・茅野間駅間を約1時間40分で結ぶ地の利が生かせる。茅野市は諏訪東京理科大や同市出身の首都圏の大学生に事業をPRして、地元に住住しながらの「リモート就職」を促す。茅野駅前のビルに市自ら設置したシェアオフィス「ワークラボハケ岳」や、民間に補助金を出して誘致したシェアオフィスの利用も促す。

交流会と茅野市は3月中旬に「ワークラボハケ岳」で諏訪東京理科大生を招いて、就職説明会を開いたり、インターンシップへの参加を呼びかけたりしたい考えだ。IT関連の人材は膨らむ需要にエンジニアなどの人材育成が追いつかず不足気味だ。パーソルキャリア（東京・千代田）が21日発表した20年12月の中途採用求人倍率を業種別にみると、「IT・通信」は5倍を超える。交流会の飯田会長は「都内でもIT人材は都心に偏り、多摩地域の企業は採用が不利だ」とみている。

一方、茅野市は08年の5万7406人をピークに人口が減少傾向に転じている。「若い世代は働く場所がないと言って、市外や県外の大学に進学後戻ってくる人が少ない」（地域戦略課）という。20年度から5年間の地域創生総合戦略では「若者に選ばれるまち」を掲げ、主力産業である製造業や観光業以外の業種の就職先を増やす方針だ。特にIT産業の誘致に力を入れており、シェアオフィス整備はその一環だ。

IT人材については経済産業省が年に79万人が不足するとの見通しを示すなど、IT関連企業にとって人材不足は中長期的な課題だ。新型コロナウイルスの感染拡大を受け、リモートワークを取り入れる企業も多い。立川市のIT企業と茅野市のような地方のIT人材発掘の手法は、他に広がる可能性もある。

長野の新卒、リモート勤務  
立川のIT32社と茅野市連携

2021年2月8日 立川経済新聞掲載

# たちかわIT交流会と長野県茅野市が連携 リモート勤務の新卒採用へ

◇本文◇

立川商工会議所所属のIT関連企業32社から成る「たちかわIT交流会」と長野県茅野市が連携し、茅野市の学生が同会の企業に就き、リモートワークで勤務する採用枠を2022年新卒採用から設ける。

若者の就職先が無く市外や県外へ流出し、3年前から人口の減少傾向が続く茅野市と、東京であってもIT人材は都心の企業に偏りIT人材が不足している多摩地域の立川市は、「互いの思いが Win-Winの関係になれる」と事業を立ち上げた。

採用した学生は就職後、基本的には長野県内の自宅やシェアオフィスで、テレワークで勤務する。必要な打ち合わせ時に立川の本社に行く場合でも、JR中央線特急の利用ができる便利な位置関係にある両市。昨年8月には、たちかわIT交流会の事務所兼シェアオフィス「ワークラボハヶ岳」を茅野駅前に開設し、就職後に利用できる環境を整えている。

諏訪東京理科大や茅野市出身で県外や多摩地域の大学に通う学生にこの事業を知ってもらい、地元に住み働きながら、立川の企業に就職する「リモート就職」を目指す。同会は3月26日、茅野市内で諏訪東京理科大3年生に向け就職説明会を開き、インターンシップへの参加を呼び掛ける。

同会代表を務める東洋システム（立川市柴崎町2）社長の飯田哲郎さんは「人口流出に歯止めをかけ若者が住むことで住民税の税収も増える茅野市と、優秀な人材確保が可能になる多摩のIT企業と、それに伴い法人税の税収が増える立川市と、3者がWin-Win-Winになれるメリットもある」と話す。

飯田さんは現在、同社の社長でもあるが、東京農工大学博士後期課程の学生としてテレワークの研究も行っている。「テレワークでの課題が見えている。くたびれない環境や疲れない食事、コミュニケーション方法についても今後、情報提供していければ。さらには、茅野市の古民家でのワーケーション事業も進めていきたい」と意気込みを見せる。



就職後のテレワークの拠点として茅野駅前に開設した、シェアオフィス「ワークラボハヶ岳」



# 茅野市の効率的なテレワークの利便性

講師：森ビルメディア企画部長 矢部 俊男氏、蓼科塾代表理事 中村恭子 氏

たちかわIT交流会2月度例会はオンラインで立川商工会議所と長野茅野市と各IT会社で行いました。森ビルメディア企画部長 矢部 俊男氏、蓼科塾代表理事 中村恭子 氏より大変素晴らしいご講演を戴きました。



**YouTube ★限定公開**  
「長野県茅野市で体験する  
ウェルネス テレワーク ~食について考える~」

<https://www.youtube.com/watch?v=ZQpFWOGQSu8&feature=youtu.be>

## 補足1：油脂の選択

推奨する	推奨しない	避ける
オメガ3系 エゴマ油 シソ油 亜麻仁油など EPA/DHA	オメガ6系 紅花油 ひまわり油 納実油 大豆油	トランス脂肪酸 マーガリン ショートニング 精製植物油 市販の菓子類



日常の調理にお勧めの油	
加熱用	非加熱用
エキストラヴァージンオリーブオイル	シソ（エゴマ）油
圧搾方式の菜種油	圧搾方式のごま油
	亜麻仁油

どうやって食事に取り入れる...？

# ちの 長野県 茅野市



人口：55,075人  
(令和3年1月1日時点)

豊かな自然に育まれた  
名産・特産



八ヶ岳から流れる清流と、澄んだ空気に恵まれた茅野市。

冷涼で湿度が低い環境でつくられる味噌や寒天は、名産品として広く知られています。

また、近年になって本格的な品質向上やブランド化が進められるようになった「そば」も、お見逃しなく。

寒天・味噌・そば など

# 茅野市のふるさと納税を一部ご紹介！



アカシヤはちみつ シナの木(菩提樹)はちみつ 百花はちみつ

👑人気



## はちみつセット

寄付金額**15,000 円**以上の寄付でもらえる

八ヶ岳オリジナルデザイン ナルゲンボトル  
寄付金額**7,000 円**以上の寄付でもらえる

小さな薪ストーブ Small Hot Box  
寄付金額**300,000 円**以上の寄付でもらえる



蓼科蕎麦通セット  
**12,500 円**

信州更科セット  
**12,500 円**



C/F 長野チーズケーキ・  
長野フルーツケーキのセット  
**12,500 円**

信州 米沢米  
**15,000 円**



秘蔵味噌  
**12,500 円**

茅野市コワーキングス  
ペース ワークラボ八ヶ  
岳 デスクシェア回数  
券**17,500 円**





# 東洋システムの拠点ができました

2020年7月31日（金）～8月1日（土）



入口ドアに  
表札を用意しました

Office 105号室

2020年8月1日よりオープン



# 長野県茅野市 視察

2020年7月17日（金）～18日（土）

## 情報交換会



茅野市の職員方々や公立諏訪東京理科大学の方を交えて情報交換を致しました。



蓼科で『休む』『リフレッシュ』聖地のブランディングについてプレゼンテーションして戴きました。



大自然の中で  
シカと交流



## 別荘地視察



八ヶ岳が  
見えます！



# 諏訪東京理科大学の学生と交流しました



2020年9月14日（月） 於 ワークラボ八ヶ岳



ワークラボ八ヶ岳の  
スタッフの方が  
東洋システムとたちか  
わIT交流会の紹介  
ボードを作成してくだ  
さいました！



# 長野県茅野市テレワーク等の利便性

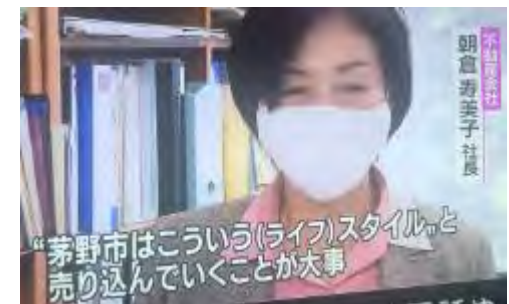
コロナ禍で変わる地方移住  
脱都会人気でバブル現象！？

かつての保養地で  
不動産取引活発化！

▼専門家から



『これからは本格的なフルの  
リモートワークを！』



『茅野市はこういう”ライフスタイル”と売り込んでいくことが大事』

# 長野県茅野市テレワーク等の利便性

(昭和35年5月31日まで)

アプリを活用した乗合  
タクシーの導入と地域  
拠点と茅野駅を結ぶ  
バスを運行。利用者  
の利便性を高める。



自家用車を持っていなくても自由に、好きな時にどこへでも移動できる  
地域公共交通の実証運行を行います。